エクイティが豊富な物件の割合が増加

ATTOM Data Solutionsからの新しいレポートによると、米国の1,670万の住宅物件は、第3四半期に株式が豊富であると見なされていました。

報告書によると、第3四半期の住宅ローンの推定残高は350万、つまり17分の1であり、住宅ローンの合計推定残高は、不動産の推定市場価格より少なくとも25%多くなっています。この数字は、住宅ローンのある米国の全不動産の6%を表しており、前四半期の6.2%、2020年第1四半期の6.6%、1年前の6.5%から減少しています。

「第3四半期の持ち家の公平性は、米国の住宅市場が今年の景気後退に逆らい続けていることを示すマーカーの山に別の小石を追加しました」とATTOM

チーフプロダクトオフィサーのトッドテタはリリースで言った。「住宅価格は上昇を続けており、全国の住宅所有者のバランスシートを押し上げています。

「コロナウイルスが依然として脅威であるため、住宅市場の下での基盤は依然として不安定であり、株式を含むさまざまな指標を引き続き注意深く監視します」と彼は付け加えました。「しかし、パンデミックが続いているため、市場は堅調であり、本拠地です。所有者は引き続き利益を得る立場にあります。」

ATTOMのU.S.Home Equity and Underwater Reportによると、第3四半期の株式が豊富な物件の数は、米国の5,890万戸の住宅ローンの28.3%、つまり約4分の1に相当します。

そのレベルは、2020年の第2四半期の27.5%、2020年の第1四半期の26.5%、2019年の第3四半期の26.7%から上昇しています。

レポートによると、第3四半期に株式が豊富な住宅のシェアが最大に増加した10州のうち4州は、バーモント州（45.1%が株式が豊富）を含むニューイングランドにありました。メイン（33.5パーセント）;サウスダコタ（30.3パーセント）;ニューハンプシャー（26.7パーセント）;アイダホ（39.5パーセント）。

株式が豊富な住宅のシェアが第3四半期に減少または増加したのが最も少ない州には、カリフォルニア（39.7%の株式が豊富）、メリーランド（19.3%）が含まれます。フロリダ（27.5パーセント）、ネバダ（28.8パーセント）;およびイリノイ（16.2パーセント）。

ATTOMによると、第3四半期に深刻な水中特性が大幅に低下した州には、ミシシッピ州（12.6%が深刻な水中）が含まれています。サウスダコタ（8.8パーセント）;インディアナ（6パーセント）;アイオワ（12.1パーセント）;コネチカット（7.7%）。

第3四半期に深刻な水中住宅の割合が増加した州には、カリフォルニア（3.7%）が含まれていました。コロラド（3パーセント）;ネバダ（3.3パーセント）;バージニア（6.8パーセント）;およびフロリダ（5パーセント）。

Source: https://www.valuationreview.com/VR/ArticlesVR/Percentage-of-equityrich-properties-increases-80803.aspx